

## 事業の概要

本事業は個別最適化教育を導入し、保健医療学部における教育の質的向上を目指す事業の展開を目的とし、令和5年度は以下の4つのアプローチを実施した。

## 事業実績の概要

基礎的学習能力の獲得	① 入学当初に実施する基礎的学習スキル教育		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートテイキング、アカデミックライティングに加え、予習・復習・自己学習の方法、ICTスキル教育、大学での学びなどについて講義</li> </ul>
学修状況の確認とそれに 応じた個別指導	② eポートフォリオの構築		<ul style="list-style-type: none"> <li>・システムを使用して、学修の記録を電子化</li> </ul>
	③ 定期的な学修到達度チェック		<ul style="list-style-type: none"> <li>・システムを使用して、定期試験とは別に定期的に授業の進捗に合わせた確認テストやレポートを提示</li> </ul>
	④ 個々の学生に合ったフィードバック		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習到達度チェックで得られた結果から、個々の学生に合わせたフィードバック</li> </ul>

### ①入学当初に行う基礎的学習スキル教育

このプログラムの名称を『フレッシューズセミナー』とし、新1年生に対して授業開始日前に基礎的学習スキル教育を合計5日間実施した。セミナーの内容は、大学での学びについて、在学生からのアドバイス、自身の読解力の理解、連絡ツール（メール・Teams）の設定、Officeスキル（エクセル・ワード・パワーポイント）、文章作成の基本ルール、レポート作成方法、礼儀作法（授業マナー・メールマナー、コミュニケーション）、自分に合った学習スタイルを身につけるための学習方法など、多岐にわたる。また、このセミナーで教授した内容を基とした学生指導・フィードバックを定期的に学科ごとに行っている。客観的効果測定はまだできていないが、学修に対する動機づけ・意識改革に影響を及ぼしていると感じている。

### ②eポートフォリオの構築、③定期的な学修到達度チェック

②と③のプログラムは、臨床実習支援システムを用いて行った。フレッシューズセミナーや教養セミナーなどで課した課題はシステムを介して提出させ、記録に残している。また特定の講義の理解度についてシステムを用いてチェックし、記録している。

### ④個々の学生に合ったフィードバック

フレッシューズセミナー、ポートフォリオ、学修到達度チェックを介して、個々の学生の能力を把握し、不足している点について、科目担当者や指導教員からフィードバックを行った。また、単位未修得科目があった学生や学修に不安を感じている学生に対して、個別に指導するなどの機会を設けている。